

放送大学滋賀学習センター

樹 滴

緑豊かな環境

真理のしあたり

第113号

〒520-2123

滋賀県大津市瀬田大江町横谷 1-5

龍谷大学瀬田キャンパス 4号館 1階

TEL. 077-545-0362

FAX. 077-545-2096

<http://www.sc.ouj.ac.jp/center/shiga/>

目 次

「煽動する諭吉」(滋賀学習センター所長 吉川 栄治)	1
「文明の不可逆性とモネ」(滋賀学習センター客員教授 石田 法雄)	2
「謝辞」(教養学部 心理と教育コース 田辺 和代)	3
令和元年度第1学期卒業証書・学位記授与式、第2学期入学者の状況	4
滋賀学習センターのセミナーのご案内	5
事務室からのお知らせ	7
学習相談会のご案内	10



煽動する諭吉

学習センター所長 吉川 栄治

明治18年、福沢諭吉が創刊した『時事新報』に次の一文が載った。「(日本にとって)不幸なるは近隣に国あり。一を支那と云ひ、一を朝鮮と云ふ」——アジアとの絶縁宣言、いわゆる「脱亜論」である。秀吉の朝鮮出兵から韓国併合、日中戦争にいたる東アジア史をふりかえれば、「不幸なるは近隣の国なり」が正確な表現だろうが、1世紀以上を経て明治の亡霊「脱亜論」がよみがえりそうな気配である。

西洋事情を紹介し自由と平等を説いた啓蒙思想家として諭吉が近代史にはたした役割は巨大だが、その人間観や国家観には少々胡乱なフシがなくもない。代表作『学問ノススメ』初編をザッと要約してみよう。

「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず」というが、現実には賢人・富豪もいれば愚人・貧民もいる。原因は学問の有無である。といっても日用の役に立たぬ文学や儒学の話ではない。読み書き算盤、物理、地歴経済、修身など実学をまなび一身独立すべし。また自由と独立は国についても同じこと。一人一人が知識と道徳を身につけ、法を尊び、命を捨てて国の威光を守らねばならぬ。

冒頭が有名になったが、重心は最後にある。国家の存立のための個人の自立、個人の自立のための実学(洋学)のススメである。背景には列強ひしめく東アジア情勢への危機感と「無気無力の愚民」へのいらだちがあった。この上から視線は明治の要人に共通し、強引な中央集権化と民衆統制に各地で暴動が頻発した。

冒頭文の出典は合衆国独立宣言といわれる。しかし独立宣言は、「人は神の下に平等であり、誰もが幸福を追求する権利をもつ。ゆえに人民には専制的な政府を取り替える自由がある」という天賦人権説にもとづく革命権が眼目である。諭吉はその前段だけを切り取り、不平等と圧政の責任を民衆の側に帰した。

世の中で無知文盲の民ほど哀れで憎むべきものはない。己の無学のせいで貧乏なのに、自分を責めず富者を怨み、まして強訴・一揆に及ぶなど不法のきわみである。こういう愚民を支配するには道理では無理だから力で脅すしかない。政府が苛酷なのではなく、愚民自身が招くわざわいののだ。(同書)

旧習にしがみつき近代化＝欧化をこばむ隣国への視線も、自国の「無智の小民」に向けるそれと変わらない。「自宅の類焼を避けるには隣家も堅牢にせねばならぬ。愚鈍な支那・朝鮮に代わり、日本が土地を押領して新築すればよい」(時事小言)。半島の宗主権を争った日清戦争では強硬な主戦論を展開した。「日本国民は一人も残らず人種の尽くるに至るまで戦ふべきのみ」「朝鮮の如き、名は自主独立と称すと雖も、其の実は国にして国に非ず」「上流は腐儒の巢窟、下流は奴隷の群集」「人民は正しく牛馬豚犬に異ならず」「日本は東洋の平和の為、即ち自国自衛の為に隣国の独立に力を致さんとするものなり」。

情動に訴える過激な文飾は諭吉の特徴だが、ここまできると啓蒙と煽動は紙一重である。ちなみに、中国・韓国への侮蔑は日本型中華思想としてすでに江戸期にきざしており、明治の民権思想と必ずしも齟齬するものではなかった。そこに、当時の世論と「リベラルな帝国主義者」福沢諭吉の立ち位置がある。

明治初期、朝鮮との国交交渉にあたった吉岡弘毅は、国内の不満を国外に転じる征韓論に反対し政府に建議書を出した。吉岡は、先方の頑なな姿勢は日本に対する積年の不信と恐怖心ゆえと説き、欧米に開国と不平等条約をしいられた日本をひきあいに、「己の欲せざることを人に施すことなかれ」と書いている。

「強い日本」の拡張主義は結局アジアと日本の2000万の死にゆきつき、私の故郷の町は原子野になった。演説会で中国侵略を煽る諭吉に対し、「我日本帝国をして強盗国に変ぜしめんと謀る者なり。是の如き不義不正なる外交政略は……徒らに怨みを四隣に結び、憎しみを万国に受け、救ふべからざるの災禍を将来に遺さん」(福沢氏耶蘇教論を駁す)と糾弾した吉岡の予言は、諭吉の死から半世紀後現実になったのである。

文明の不可逆性とモネ

学習センター客員教授 石田 法雄

半世紀前、哲学者西谷啓示（1900～1990）は『現代における人間の問題』と題した講演において「文明の不可逆性」ということを述べている。それは万能とされてきた科学や技術の進歩が人間に多大な貢献をなしてきたと同時に、いずれはそれ自体が人間を破壊してしまうと警告しているものである。テクノロジーの問題はわれわれの生活に莫大な影響を与えているが、その最大のもは原子力の問題であると主張し、現代の人間を脅かしている根本の問題は、その巨大なエネルギーが、巨大な政治の力と結びついているということであると指摘している。さらに政治のテクノロジー化ということは、たとえば現代の戦争形態のうちに最も見やすい形で表れていると忠告している。

文明civilizationは、文化cultureがその対象として扱われて語られることがよくある。そこでは、文明は都市化urbanizationに見られるように、人間の生活の便宜と快適さが追求されるものとなる。その一方文化cultureは、耕すcultivateという耕作cultivationにみられ、農業agricultureはその一例で、自然との調和・共存の中において営まれていくことを旨としている。

そこで文明は人工的artificial要素が強く、科学技術、テクノロジーの助けをかりて、生産性と物質的充足を満たしてくれる。その一方文明に対しての文化は、芸術等との繋がりが深い美学、審美学といった鑑賞・享受appreciationといった心の育成を促進する。このように文明、文化の特質は異なっていながら、人間にとっては双方共に必要不可欠で、両立の中において生活を営んでいる。

しかし、自然を克服・制覇しようとする「人間の営み」としての文明には、自然との闘いと挑戦が常に繰り広げられている。最近の世界的な異常気象を引き起こしているのも、元をたどれば人間がその要因となっている。深刻な自然破壊の中、いずれ自らを葬っていく人間の営みはいかがなものかと嘆く人が多くみられる。文明の進歩は元に戻れないというのは、西谷によれば「科学や技術の進歩を止めるということが人類に大きな不幸をもたらす」とあるが、そこで西谷は文化、宗教の意義を啓発している。

ただ進歩し続ける文明とは異なり、文化には「完結性sense of completion」という「立ち止まる」特質がある。2,500年前のことで今も新しく学ぶことは多々ある。来年2020年はベートーベン生誕250周年である。今でもベートーベンを鑑賞し、享受する。

最近の国際情勢は悲惨であるが、その混沌さは今に始まったことではないと思われる。そして目を疑うばかりの変化、進化しているテクノロジー生活の中で毎日アクセクと暮らしている。

時にはモネMonetの絵画の前で立ち止まりたい衝動に駆られる。



マルモッタン・モネ美術館（2018.08.31 HI）

謝 辞

教養学部 心理と教育コース
卒業生代表 田辺 和代

今年は、長い梅雨、猛暑、豪雨など過酷な夏でしたが、これから秋晴れのさわやかな季節が続くことを願っています。

本日は私たち卒業生のためにこのような素晴らしい式典を催して頂き、誠にありがとうございます。ご多忙の中、教職員の皆様、御来賓の方々のご臨席を賜り、卒業生一同心よりお礼申し上げます。

今から十五年ほど前、私は「生活と福祉専攻」で入学しました。しかし当時告知された癌のステージは厳しく、卒業まで生きていられるかどうかという中で学習スタートとなりました。治療の副作用で何度も心が折れそうになりましたが、とにかく、自分の病気についてなんでもいいから情報を得ようと、健康と名の付くものから食物、ストレス、心理についてと学びの範囲は広がっていきました。特に、「患者からみた医療」という科目は、当時の私を非常に元気づけてくれるものでした。まだまだ声を上げる患者が少ない中、患者会という同じ病気の方々と知り合う機会を後押ししてくれました。また、勉強することが段々楽しくなりすぎて、試験の日から逆算して治療日を変えてもらうようなこともあり、主治医の先生に大変ご迷惑をおかけしたこともありました。そして、最初の卒業式では、かつらを着用して出席しながらも、本当にうれしかったのをよく覚えています。

その後は、科目履修などで、気になった科目を学んでいましたが、外国語を習うことでその国の文化や歴史を知りたくなったり、町内会の役回りからコミュニティや防災について学んでみたくなったりしました。伝統的な科目も改訂により、時代にあった内容になったり、現在の流行や関心に合わせた科目が新設されたりと私の興味をひきつけてやみませんでした。気がつけば、「人間と文化」「社会と産業」コース、そして今回の「心理と教育」のコースを無事修了することができ、癌サバイバーとしての今があります。また、もともと読書量は多かったのですが、履修科目の関連本など普段目にしないジャンルまで及び、図書館には感謝しております。今までの暗記型の勉強方法をがらりと変えて、意識的に知識を構築していくのに大変役に立ちました。さらに、私に学習することを継続させて下さった、私よりも一回りも二回りも上の諸先輩方の姿勢には頭が下がる思いです。丁寧にメモを取られたノート、使い込まれた付箋付きの教科書を見るたびに、自分を鼓舞することができました。そこで、あとは苦手とする数理が入ったコースを残すのみとなりましたが、諸先輩方に倣って、じっくり時間をかけて学んでいきたいと思っています。

今日では、テレビでも雑誌でも、そしてインターネットでもいろいろな情報を簡単に得られるようになりましたが、放送大学のおかげで、その中の気になった事象を掘り下げて教科として学べるのがとても幸せです。もちろん私の年齢からして、こうして勉学を続けることは、脳の機能の老化防止にもきっと役に立つと願ってまいります。これからまた、頭をフル回転しながらも、ゆったりと生涯学習を継続していきたいと思っています。

最後になりますが、今日までご指導ご支援頂いた諸先生方、様々な面で私たちを支えて下さった職員の皆様にご改めて御礼申し上げますとともに、放送大学の益々の発展を祈念いたしまして、謝辞とさせていただきます。

令和元年度 第1学期 卒業証書・学位記授与式 第2学期 入学者の集い

9月29日(日)に龍谷大学のRECホールで行われました。

今年度1学期は20名の方が放送大学を卒業されました。式では吉川所長より一人一人にお祝いと励ましのことばを受けた後、田辺和代さんが「卒業生代表の謝辞」(下の写真)を述べられました。

ちなみに、卒業された20名中10名が再入学されて、放送大学で勉学を継続されます。

令和元年度第1学期卒業生<教養学部>

生活と福祉コース	2名
社会と産業コース	2名
自然と環境コース	2名
心理と教育コース	9名
人間と文化コース	4名
情報コース	1名
合計	20名



令和元年度 第2学期 入学者の状況

第2学期の滋賀学習センターへ入学された方は、9月29日現在で110名になりました。(内訳は右の表)年代別にみると、29才以下=22人、30代=22人、40代=23人、50代=19人、60才以上=24人となりました。ちなみに、入学者の最高齢は82才で、平均年齢は45.2才でした。職種別では人数の多い順に、教員(30名)、公務員・団体職員等(18名)、看護師等(12名)、定年退職者(11名)、会社員等(9名)、などとなりました。

令和元年度第2学期入学生<9月29日現在>

全科履修生	22名
選科履修生	26名
科目履修生	50名
特別聴講生	9名
(院) 修士選科生	2名
(院) 修士科目生	1名
合計	110名

セミナー のご案内

所長・客員教員が開催する学びの場です。原則として滋賀学習センター所属の学生が参加できます。

以下の日程が変更になる場合は、滋賀学習センターWEB ページ及び掲示板でお知らせしますのでご注意ください。



古典入門セミナー

— 日本の名場面 —

吉川 栄治 先生

「人間」をテーマに、さまざまな古典作品の中から、生と死、性と愛、怪異、犯罪、滑稽談など、昔の日本人のありのままの姿を活写した場面を選び、現代と異なる倫理観・死生観・婚姻観などについて解説します。

10月15日(火) 10:30~12:00

11月12日(火) 10:30~12:00

11月26日(火) 10:30~12:00

12月10日(火) 10:30~12:00

12月24日(火) 10:30~12:00



「中国史の原典を読む」セミナー

秋山 元秀 先生

宋の司馬光が著した『資治通鑑』の漢武帝の時代を読みます。

テキストには活字標点本(中華書局)を使います。

10月 9日(水) 10:30~12:00

10月23日(水) 10:30~12:00

11月13日(水) 10:30~12:00

11月27日(水) 10:30~12:00

12月11日(水) 10:30~12:00

12月25日(水) 10:30~12:00



仏教英語入門セミナー

— ちょっと英会話 —

石田 法雄 先生

仏教思想を英語で講義し、日本語で解説し、討論を行います。

諸行無常の英訳は Everything is changing. です。系統立てた講義ですが、毎回テーマがありますので自由に参加して下さい。

10月11日(金) 13:30~15:00

10月18日(金) 13:30~15:00

11月 8日(金) 13:30~15:00

11月15日(金) 13:30~15:00

12月 6日(金) 13:30~15:00

12月13日(金) 13:30~15:00



経済学セミナー

— 経済とはどのような営みだろうか —

梅澤 直樹 先生

稀少資源の効率的な配分という経済学の常識を超えて、経済活動が人間の幸せにとって持つ意味 (well being = 生の充実) を、J.S.ミルなど優れた経済学者に導かれつつ考えてゆきたいと思います。

10月16日(水) 10:30~12:00

10月30日(水) 10:30~12:00

11月 6日(水) 10:30~12:00

11月20日(水) 10:30~12:00

12月 4日(水) 10:30~12:00

12月18日(水) 10:30~12:00

NO
IMAGE

異文化理解入門セミナー

— 文化人類学の視点と方法を学ぶ —

兼重 努 先生

文化人類学における異文化理解の基礎的視点と方法論について以下の2点を中心に学びます。①世界の諸文化を正しく理解するための視点と方法論、②異文化を生きる人々の目を通して人生や世界を見るための視点と方法論。

10月15日(火) 13:30~15:00

10月29日(火) 13:30~15:00

11月 5日(火) 13:30~15:00

11月19日(火) 13:30~15:00

11月26日(火) 13:30~15:00

12月 3日(火) 13:30~15:00

12月10日(火) 13:30~15:00



コミュニティ・デザイン研究セミナー

— 21世紀社会におけるまちづくりの課題 — 川中 大輔 先生

まちづくりを巡る社会環境が変化し、従来のカタチには限界が見られてきています。にも関わらず、一層の拡充・推進が期待されています。この中でどのような実践を構想していくべきでしょうか。この問いについて考えていきましょう。

10月25日(金) 13:30~15:00

11月22日(金) 13:30~15:00

12月20日(金) 13:30~15:00



現代化学セミナー

— 元素の周期表から材料科学へ —

藤原 学 先生

私達は、いろいろな物質(材料)に取り囲まれて豊かな生活を送っています。なぜ、このような材料がつくられ利用されているかについて理解するために、化学の基本である元素の周期表から講義を始めていきます。

10月16日(水) 13:30~15:00

11月20日(水) 13:30~15:00

12月11日(水) 13:30~15:00

職名	氏名	現職名等	専門分野
所長	吉川 栄治	放送大学特任教授・滋賀大学名誉教授	国文学
客員教員	秋山 元秀	滋賀短期大学長・滋賀大学名誉教授	地理歴史学・人文地理学
	石田 法雄	滋賀県立大学名誉教授	宗教学・英語英文学
	梅澤 直樹	大和大学教授・滋賀大学名誉教授	社会経済学
	兼重 努	滋賀医科大学教授	文化人類学
	川中 大輔	龍谷大学講師	社会学
	藤原 学	龍谷大学教授	機器分析化学

事務室 からの お知らせ

学生証・学割証・入構許可証の発行、インターネット配信、郵送による教材の貸出、図書・再視聴室の利用期間や図書・教材の貸出の方法、それぞれの手続きや分からないときの本部問い合わせ先などについてご案内します。

第2学期の窓口での手続きについて

■学生証の発行

- * 学生証の発行には、写真票を大学本部に提出し、システム WAKABA に登録されていることが必要です。大学本部での登録完了の後、学習センターで発行することになります。
- * 学期開始後から単位認定試験開始までに余裕をもって、手続きを終えてください。
- * 有効期限を経過したり、退学等により学籍を失った場合は、学習センターに返還してください。
- * 学籍が継続する場合は、期限切れの学生証を持参し、学生証の発行手続きをしてください。

★詳しくは、「学生生活の葉」学部:18頁～20頁、修士:24頁、博士:27頁を参照ください。

■入構許可証の発行

- * 車で来学される方は「入構許可証」が必要です。
- * 「利用の手引き」巻末にある「入構許可申請書」に必要事項をご記入いただき、窓口にご持参ください。即時「入構許可証」を発行します。
- * 2020年3月31日まで有効です。

学割証の発行について

全科履修生・修士全科生のみ利用できます。(選科ならびに科目履修生は対象外です。)

- ① 自宅の最寄り駅から学習センターに通学するための回数券(定期券不可)を購入できます。
 - * JR西日本(2割引) 瀬田まで購入可
 - * 京阪電車(2割引) 京阪山科・皇子山・京阪膳所・京阪石山まで購入可
 - * 上記以外の私鉄をご利用の場合は、窓口までお問い合わせください。
 - * 学割証の有効期限は、発行日から1ヶ月です。
- ② 自宅の最寄り駅から他学習センターの面接授業を受講するため・大学本部に通学するための普通乗車券(特急券不可)を購入できます。(片道100kmを超える場合のみ)

<科目登録決定通知書など、日時・場所が記載されたものをご提示ください。>

 - * JR(2割引) 例:瀬田→(米原経由)→海浜幕張
 - * 有効期限は、面接授業等の初日の10日前から終了日の5日後です。

★詳しくは、「学生生活の葉」学部:130頁～132頁、修士・博士:114頁～115頁を参照ください。

面接授業の追加登録について

- 空席発表 10月19日(土)12:00
- 追加登録期間 【10月～1月開講の授業】 10月25日(金)～科目ごとに定められた受付期限日
【2月開講の授業】 10月25日(金)～1月19日(日)まで

■対象者 令和元年度第2学期に学籍のある教養学部の全科履修生・選科履修生・科目履修生

■追加登録方法 登録期間中、先着順で受け付けます。

☆詳しくは、「2019年度第2学期 面接授業開設科目一覧」の9頁～15頁を参照ください。

※空席数については、システムWAKABA、または滋賀学習センター掲示板をご覧ください。電話による問い合わせもできます。

※10月25日(金)15:00以降は、システムWAKABA でその時々空席状況を確認することができます。(空席状況は、検索された時点のものです。追加登録を申請される際には、空席状況が変わっている場合もありますので、予めご了承ください。)

通信指導の提出と添削結果返送時期について

通信指導とは、放送(DVD等の視聴によるものを含む)及び印刷教材により行われる授業において、一定の範囲で問題が出題され、その答案を提出して担当教員の添削指導を受けることです。この「通信指導」を提出しなかった場合、または評価の結果が不合格となった場合には、単位認定試験の受験資格は得られません。

提出については、一部の科目を除き、「Web通信指導」が利用できます。「Web通信指導」で提出(送信)を行った場合は、郵送による提出は不要です。対象科目、受講方法等の詳細については、キャンパスネットワークホームページをご覧ください。

＜提出期限＞ 郵 送：2019年11月15日(金)～11月29日(金)【本部必着】

W e b：2019年11月8日(金)10:00～11月29日(金)17:00

※利用するパソコン及びネットワーク環境に起因するトラブルにより提出が間に合わなかった場合でも、未提出扱いとなりますので、余裕を持って提出(送信)してください。

＜添削結果返送時期＞ 2019年12月末頃

※(択一式)1月8日、(記述式)1月17日までに届かない場合は、大学本部に連絡してください。

☆詳しくは、「学生生活の葉」学部:70頁～71頁、修士・博士:62頁～66頁を参照ください。

単位認定試験の受験地変更について

転勤・転居等のやむを得ない事情及び通勤・通学等地理的な関係等のために所属センター以外で受験する方が便利な場合は、「単位認定試験受験センター変更願」を所定の期限内に提出することにより、受験センターを変更することができます。

※変更願は「学生生活の葉」巻末(様式11)にあります。システムWAKABA での変更もできます。

＜提出期限＞ 郵 送：2019年10月1日(火)～11月25日(月)【本部必着】

システムWAKABA：2019年10月1日(火)～12月2日(月)24:00

☆詳しくは、「学生生活の葉」学部:72頁～73頁、修士・博士:67頁～69頁を参照ください。

図書・再視聴室の利用について

■利用内容： ○図書資料の閲覧 ○印刷教材の閲覧
○放送教材の視聴

■利用時間： 9:15～17:45 ○大学院・学部単位認定試験中は利用時間が拡大されます。
(単位認定試験期間中 9:00～18:45)

■図書の閲覧

図書資料は、書架より自由に取出して閲覧できます。

■ 図書の貸出・返却

2019 年 4 月から、学習センターの図書の貸し出しは行っていません。貸出を希望する場合は大学本部の附属図書館を利用ください。

※詳しくは「学生生活の葉」(114 頁)もしくは附属図書館のホームページ(<http://lib.ouj.ac.jp/>)でご確認ください。

※学習センター閉所日や開所時間外での大学本部の附属図書館の図書資料の返却は、玄関前に設置の返却ポストをご利用ください。閉所中は「図書・再視聴室」へ返却してください。

■ 放送教材(DVD/CD)の室内視聴

放送教材は受付カウンターで手続きをすれば、室内視聴が可能です。(登録科目以外の放送教材も視聴できます。) 2019 年度以降(大学院は 2018 年度以降)の新規開設科目につきましては、放送機材(DVD・CD)の配架は行いません。配架中の放送機材は閉講になるまで視聴できます。インターネット視聴端末では全科目の視聴ができます。

※ 放送教材の貸出は、現在登録している科目及び再試験科目の放送教材を郵送にて大学本部からご自宅に取り寄せることができます。往復の送料は、貸出希望者の負担になります。詳しくは「学生生活の葉」(学部:33 頁～35 頁、大学院:44 頁～47 頁)を熟読してください。

図書室を活用しましょう!



■ 閉室日

* 毎週月曜日・祝祭日

* 12月28日(土)～1月4日(土)

(年末年始および1月の臨時閉所日)

* 12月28日(土)、1月4日(土)、1月24日(金)

☆ 「利用の手引」巻末のカレンダーでは、12月28日(土)、1月4日(土)は閉所日となっています。ご注意ください。

■ ロッカーおよびメッシュケースの利用

学習上必要とする教材以外の所持品(かばん等)は、図書・再視聴室へは持ち込まないでロッカーを利用してください。なお、貴重品は必ず身に付けてください。ロッカーの利用は当日限りとし、無料です。(利用する際には投入口に100円必要ですが、使用後100円は戻ります。)

また、カウンターにメッシュケースを置いていますので、教材等の持ち運びにご利用ください。なお、メッシュケースの利用は当日限りとします。

放送教材の貸出について

放送教材の貸出は郵送のみ行っています。現在登録している科目および再試験科目の放送教材を郵送による貸出ができます。往復の送料は、貸出希望者の負担になります。

利用方法・手順は「利用の手引き」11頁～12頁に記載していますので、ご覧ください。

インターネット配信について

放送授業(テレビ科目、ラジオ科目)は、パソコンやスマートフォンなどで開設期間中ならいつでも視聴することができます。ただし、インターネット配信はストリーミング配信ですのでダウンロードすることができず、視聴中は常にインターネット通信費がかかる場合があります。通信費のかからない Wi-Fi 環境等での視聴を推奨します。ラジオ科目をパソコンやスマートフォンなどで放送と同時に聴ける「radiko」(ラジコ)もご利用いただけます。詳しくは、<http://radiko.jp> をご覧ください。

☆ 詳しくは、「学生生活の葉」学部:31頁～32頁、修士・博士:42頁～43頁を参照ください。

滋賀学習センターにおける Wi-Fi の利用申請について

今年度からセンター内で、個人の持込 PC・スマートフォン・タブレット端末による Wi-Fi 接続が可能となりました。Wi-Fi の利用を希望される方は、必ずご本人が滋賀学習センター事務室へご来所のうえ、申請手続きを行ってください。申請用紙は滋賀学習センターのホームページよりダウンロードするか、直接窓口に取りに来てください。なお、申請にはサイバーセキュリティ研修が必須となっていますので、研修を終えた後、修了証の提出をお願いします。

※ サイバーセキュリティ研修とは、放送大学の放送授業である「遠隔学習のためのパソコン活用(17)の、第 5 回「セキュリティと情報倫理」(システム WAKABA にログイン>学内リンク>放送授業のインターネット配信>カテゴリー:01 教養学部>01 基盤科目)を受講することです。

学習相談会について

所長および客員教員が学習相談に応じています。ご希望の方は・・・

- ① 事務室窓口横のラックにある「学習相談会申込書」に必要事項を記入し、事務室に提出してください。
- ② 原則、勉強会終了後の学習相談会での相談となりますが、それ以外での相談の場合は、日時等を調整後、ご連絡いたします。

※所長への学習相談の際は、随時受け付けていますので、お気軽に窓口までお申し出ください。

11月2日(土) 文化祭講演会 (第3回公開講座) の開催について

～「安土図屏風」の実像とその歴史的意義～ 杉森 哲也 放送大学教授

-----「安土図屏風」は織田信長が絵師の狩野永徳に命じて制作され、天正遣欧使節によってローマ教皇グレゴリウス 13 世に献上されるという特異な運命をたどります。この講演会では、必ずしも正しく理解されていない「安土図屏風」の実像とその歴史的意義について考えます。-----

11月2日(土) 10:00 ～ 龍谷大学瀬田キャンパス4号館 定員 100 名

11月2日(土)に学友会主催の文化祭が開催されます。例年学生の皆様の意見を参考に、文化祭講演会を開催しています。多くの学生の皆様が、講演会及び講演後の杉森先生を囲んでの懇談会に参加され、盛会となることを期待しています。学生の皆さん、よろしく願います。

滋賀学習センターの閉所について

◎ 臨時閉所のお知らせ……………諸般の事情により、下記の期間を臨時閉所とします。

12月28日(土)、令和2年1月4日(土)

大変ご迷惑をおかけしますが、よろしくご理解いただきますようお願いいたします。

お知り合いに放送大学をご紹介ください！！

知人・友人の紹介で入学される方がたくさんおられます。



2020年度第1学期入学の学生募集が11月26日(火)より始まります。

皆様のお近くにおられる友人や知人に放送大学の入学をおすすめくださるようご協力をお願いいたします。放送大学学生募集要項、滋賀学習センターのパンフレット等を事務室で用意しております。必要な部数を事務室までご請求ください。わかりにくいところは滋賀学習センターに問い合わせるようお願いいたします。



スケジュール



10 月			11 月			12 月		
日	曜	内 容	日	曜	内 容	日	曜	内 容
1	火	第2学期放送授業開始(～1/20) 滋賀大学附属図書館利用申請受付開始(～10/20)	1	金		1	日	面接授業 2020年度第1学期(院修士・選科・科目・教養学部) 出願受付開始(～2/28)
2	水		2	土	学生会(かいつぶり)文化祭 第3回公開講座	2	月	閉所日
3	木		3	日	閉所日(文化の日)	3	火	【セ】兼重 13:30
4	金	オンライン授業開始(～3/2)	4	月	閉所日	4	水	【セ】梅澤 10:30
5	土	2020年度大学院博士全科生・修士全科生 入学者一次選考(筆記試験)	5	火	【セ】兼重 13:30	5	木	
6	日		6	水	【セ】梅澤 10:30	6	金	【セ】石田 13:30
7	月	閉所日	7	木		7	土	面接授業
8	火	研修旅行(京都・舞鶴方面)	8	金	【セ】石田 13:30	8	日	面接授業
9	水	【セ】秋山 10:30	9	土	面接授業	9	月	閉所日
10	木		10	日	面接授業 2020年度大学院博士全科生入学者二次選考(面接諮問)	10	火	【セ】吉川 10:30 【セ】兼重 13:30
11	金	【セ】石田 13:30 集中科目履修生(司書教諭)単位認定試験課題提出期限	11	月	閉所日	11	水	【セ】秋山 10:30 【セ】藤原 13:30
12	土		12	火	【セ】吉川 10:30	12	木	
13	日		13	水	【セ】秋山 10:30	13	金	【セ】石田 13:30
14	月	閉所日(体育の日)	14	木		14	土	面接授業
15	火	【セ】吉川 10:30 【セ】兼重 13:30	15	金	【セ】石田 13:30 通信指導提出期間(～11/29)	15	日	面接授業
16	水	【セ】梅澤 10:30 【セ】藤原 13:30	16	土	面接授業 2020年度大学院修士全科生入学試験(面接諮問)	16	月	閉所日
17	木		17	日	面接授業 2020年度大学院修士全科生入学試験(面接諮問)	17	火	
18	金	【セ】石田 13:30	18	月	閉所日	18	水	【セ】梅澤 10:30
19	土	面接授業 第2学期面接授業空席発表	19	火	【セ】兼重 13:30	19	木	
20	日	面接授業 滋賀大学附属図書館利用申請締切	20	水	【セ】梅澤 10:30 【セ】藤原 13:30	20	金	【セ】川中 13:30
21	月	閉所日	21	木		21	土	面接授業
22	火	閉所日(即位礼正殿の儀)	22	金	【セ】川中 13:30 教員免許更新講習受付期限	22	日	面接授業
23	水	【セ】秋山 10:30	23	土	閉所日(勤労感謝の日)	23	月	閉所日
24	木		24	日		24	火	【セ】吉川 10:30
25	金	【セ】川中 13:30 第2学期面接授業追加登録開始 教員免許更新講習生受付開始(～11/22)	25	月	閉所日	25	水	【セ】秋山 10:30
26	土	面接授業	26	火	【セ】吉川 10:30 【セ】兼重 13:30	26	木	
27	日	面接授業	27	水	【セ】秋山 10:30	27	金	
28	月	閉所日	28	木		28	土	臨時閉所日(冬季)
29	火	【セ】兼重 13:30	29	金	通信指導提出期限	29	日	年末閉所日(～12/31) 年始閉所日(1/1～1/4)
30	水	【セ】梅澤 10:30	30	土	面接授業	30	月	閉所日
31	木				【セ】=セミナー	31	火	閉所日

◇表紙写真説明

9月29日令和元年度 第1学期 卒業証書・学位記授与式 集合写真